

平成27年度函館市事業評価調査書

平成27年6月作成

| | | | | | | | | | | |
|--------|----------|-----------------|-----------------|---|-----------------|----------------|-----|----------|------|---------|
| 整理番号 | 54 | 事業名 | はこだてグルメサーカス関係経費 | | 事業の性質別 | 義務的経費(一部裁量的経費) | 区分 | | | |
| 予算事項名 | 大事項 | はこだてグルメサーカス関係経費 | | 中事項 | はこだてグルメサーカス関係経費 | | 部課名 | 観光部観光推進課 | | |
| 事業開始年度 | 平成 24 年度 | 根拠法令等 | あり | <input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(はこだてグルメサーカス実行委員会設置要綱) | | | | | 電話番号 | 21-3499 |

1. 事業の目的・必要性と内容(PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

| | |
|--------|--|
| 目的・必要性 | 【目的】 北海道新幹線開業を間近に迎え、中心市街地の活性化と広域からの観光客誘致を図る。 |
| | 【必要性】 北海道新幹線開業を見据え、中心市街地の賑わい創出や広域的な観光連携を推進するためにも必要なものである。 |
| 内容 | 函館朝市駐車場やグリーンプラザを会場に、函館市内からの出展以外にも、函館と縁のある道南、東北、開港都市、海外姉妹都市のほかエアで結ばれている東京、大阪、名古屋からも参加し、テント数130ブースを設置し、各地域自慢の食や観光PRが展開されている。また、平成27年度は、新たに北関東からも出展が予定されている。 また、北海道新聞社との連携のもと、函館圏域のみならず札幌圏にも折込紙(参加店の食や都市の魅力情報等掲載)が配布され、本紙においても開催告知が大きく掲載されている。 【平成27年度開催】9月5日(土)10:00~17:00, 6日(日)10:00~16:00 |

2. 概算総事業費(DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

| | | 平成24年度決算 | 平成25年度決算 | 平成26年度予算 | 平成26年度決算見込 | 平成27年度予算 | 平成28年度予算要求 |
|---|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|
| 事業費(A) | | 5,000 | 12,892 | 13,000 | 12,889 | 14,000 | 0 |
| 特定財源 | 国・道 | | | | | | |
| | 市債 | | | 11,000 | 11,000 | 13,000 | |
| | その他 | 1,000 | 11,000 | 1,000 | 500 | | |
| 一般財源 | | 4,000 | 1,892 | 1,000 | 1,389 | 1,000 | |
| 事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small> | 職員 | 人工 1.00 7,508 | 人工 1.00 7,218 | 人工 1.00 7,290 | 人工 1.00 7,290 | 人工 1.00 7,512 | 人工 0.00 0 |
| | 嘱託職員 | 人工 0.00 0 | 人工 0.00 0 |
| | 臨時職員 | 人工 0.00 0 | 人工 0.00 0 |
| | 人件費(B) | 7,508 | 7,218 | 7,290 | 7,290 | 7,512 | 0 |
| 総事業費計(A+B) | | 12,508 | 20,110 | 20,290 | 20,179 | 21,512 | 0 |

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

| 活動指標名 | 単位 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|----|---------|---------|---------|--------|
| 来場者数 | 人 | 160,000 | 171,000 | 169,000 | |
| ブース数 | 張り | 120 | 127 | 130 | |
| | | | | | |

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

| | |
|------|-------------|
| 成果指標 | 定量的な成果指数はない |
|------|-------------|

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

| | |
|--------|--|
| 事業の成果等 | 北海道新幹線開業を見据え、特に東北地域が函館でのPRを望んでいることから出展数が伸びており、多くの来場者数も維持している。また、函館駅前地区に多くの人々が訪れることから、地域商店等への経済波及効果も非常に高いものと思われる。この事業を通じて、各地域の施策等の情報交換が密となり、プロモーションの拡大等にもつながっている。 |
|--------|--|

5. 事務事業の点検 (CHECK)

| 評価項目 | 評価内容 | 評価内容の説明 | 評価項目 | 評価内容 | 評価内容の説明 | |
|-------------------------|--------------|---|--------|------------|----------|--|
| 必要性 | 事業の市民ニーズ | 高まっている | コスト・負担 | コストの節減度 | 節減できている | 実行委員会形式で各団体からの人員によりイベント運営に努めているほか、特に、北海道新聞社からは告知面で相当の協力を受けている。 |
| | 市の関与の妥当性 | 法令・条例等の根拠により関与が妥当 | | 将来コスト増減見込み | 現在と変わらない | |
| 成果・有効性 | 成果の達成状況 | 達成している | 執行方法 | 受益者負担の適正度 | 評価対象外 | |
| | 事業目的実現のための手段 | 現手段が最適 | | 外部委託の可能性 | すでに実施 | |
| 評価結果から明らかに なった課題事項など | | 非常に期待されているイベントであり、作業効率や運営方法についても問題ないものとする。今後は、出展内容の変更など新幹線開業による新たなエリアからの出展等スキルを高めていく工夫をする必要がある。 | | | | |

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

| | | |
|---------------------|------|--|
| 今後の方針 (改善・見直し内容) | 基本方針 | (事業について) 平成28年度は北海道新幹線開業を記念した取り組みを検討していくとともに、開業により新たなターゲットとなる地域との参加などを検討する。 |
| | 改善 | (経費について) 新たな地域からの出展とブース数にあわせた会場のゾーニング等を検討し、できる限りの経費抑制に努める。 |

参考:他の自治体の状況

| | |
|----------------------------|--|
| 比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など) | |
|----------------------------|--|